

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【公開番号】特開2007-274663(P2007-274663A)

【公開日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2007-040

【出願番号】特願2006-198709(P2006-198709)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

G 03 B 17/02 (2006.01)

G 03 B 11/00 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/225 E

G 03 B 17/02

G 03 B 11/00

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月15日(2009.7.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体像を光電変換する撮像素子を有する撮像装置であつて、  
前記撮像素子の被写体に近い側に配置された光学素子と、  
前記光学素子の表面に付着した異物を除去する異物除去手段と、  
前記撮像装置の電源をON及びOFFする指示を行う指示手段と、  
前記指示手段による前記撮像装置の電源をOFFする指示に応じて前記異物除去手段に  
異物除去動作を行わせる制御手段と、  
を具備することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記撮像装置の電源をOFFする指示とは、前記撮像装置の電源スイッチがOFFされたときに前記指示手段より出力される指示であることを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記撮像装置の電源をOFFする指示とは、前記撮像装置をスリープ状態に移行させるとときに前記指示手段より出力される指示であることを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記異物除去手段は、前記光学素子を振動させる加振手段を備えることを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項5】

前記異物除去手段は、前記光学素子の表面を拭きする拭き手段を備えることを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項6】

前記異物除去手段は、前記光学素子の表面を静電吸引する静電吸引手段を備えることを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】撮像装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】